

企画講演提案について

招待講演

すでに成果が挙げられた研究において、その研究の中心的な役割を担った研究者に一般講演よりも長い時間で行っていただく講演。

企画講演

一般講演よりも長い時間で行う次のような講演。

- ・ 今後成果が期待される分野の研究者による新鮮なテーマの講演
- ・ 国際交流を視野に入れた講演
- ・ 各種受賞記念講演（若手奨励賞受賞記念講演を除く）
- ・ その他、会員にとって魅力的な要素をもった講演

チュートリアル講演

他分野の研究者及び大学院生等の初学者に対する解説を主とした講演。丁寧にわかりやすく講義形式で講演していただくために、招待・企画講演よりも長めの時間設定が可能。

一般シンポジウム講演

ある一つのテーマに沿って、様々な角度からそのテーマを代表する研究者に一般講演とは違った時間枠でしていただく一続きの講演。

共催シンポジウム講演

新学術領域その他の研究共同体（以下、コンソーシアム）と物理学会との共同で大会中に開催するシンポジウムで、コンソーシアムの活動状況、研究成果について広く紹介し、意見交換するための講演。（当該コンソーシアムには、共催費（標準額は、200,000円、<消費税除く>）をご負担いただきます。）

共催企画講演

新学術領域その他の研究共同体（以下、コンソーシアム）と物理学会との共同で開催する企画講演で、コンソーシアムの活動状況、研究成果について広く紹介し、意見交換するための45分以内の講演。（当該研究グループには、共催費（標準額は、100,000円<消費税除く>）をご負担いただきます。）

(大会HPより)

招待講演とチュートリアル講演の区分け

招待講演	チュートリアル講演
<ul style="list-style-type: none">● その人の独自研究の発表。● その研究の第一人者であること。	<ul style="list-style-type: none">● 自分の研究成果や発表を含めても良いが、聴衆が勉強したいと思う基礎的な内容を解りやすく解説するという趣旨がある。● チュートリアルのタイトルは、初学者に向けた講演であるとわかるようなものとする（専門家向けの表現は避ける）。
<ul style="list-style-type: none">● 推薦理由とそこに挙げられた引用文献が厳しくチェックされる（書き直しを命じられる場合がある）● 推薦理由は今の分量 400-500 字程度よりは、もう少し長めに書いておくと安全。● 引用文献は、全著者名、論文標題をつけ、文章中で番号と対応付けて引用する。	

なるべく、大会申し込み前に、運営委員にご相談ください